

手話で会話を楽しもう

「手話で会話を楽しもう」は、手話による基本的な日常会話を習得することを目的に、平成二十三年十一月一日から十二月六日まで全六回で開催しました。講師には、福島県聴覚障害者協会の萩野谷ケイ子先生と江尻さつえ先生を迎えました。

まず初めに、「聞こえないってどんなこと」という内容で、聴覚障がい者について、先生ご自身の体験にもとづいたお話があり、受講生は熱心に聞き入っていました。



手話で会話を楽しもうの講座の様子。

次に、手話でのあいさつや、指文字による五十音や数字の表し方を学習しました。二回目以降は、自分の家族や趣味などのさまざまな単語を学びました。

最終回には、職員も立ち合わせていただきながら、講座で学習したことを応用して、一人ずつ手話で上手に自己紹介をしました。



手話で自己紹介をしています。

終始、和気あいあいとした雰囲気が進められ、受講生は楽しく学習できた様子でした。公民館では、各種事業を実施し、地域の皆様に向けて、さまざまな学習の機会を提供してまいります。

デジタルカメラの初歩

デジタルカメラ初めの一歩講座は、デジタルカメラをはじめてさわる方を対象に、平成二十四年二月二十二日から全四回で開催しました。

講師には、市民講師であり、パソコン教室等を経営されている椎名忠人さんを迎えました。講座では、デジタルカメラに「慣れる」「撮影する」より「キレイに撮ること」について、受講生のカメラの取扱説明書の内容をひとつずつ確認しながら進められました。



デジタルカメラ初めの一歩講座の様子。

受講生からは、「わかりやすい講座だった」「自分のカメラにいろいろ機能があることがわかった」「カメラをもっと活用したい」などの感想が寄せられました。

また、先生は準備のため、講座の一時前には来館されており、三十分以上早めに来て、先生に質問や相談する熱心な受講生が、たくさんいらっしゃいました。

この講座は、平成二十四年度前期市民講座で「入門」はじめてさわるデジタルカメラ講座として、内容を一部改めて開講します。ぜひご参加ください。



デジタルカメラを操作しながら学習する様子。

成人式



新成人代表があいさつをする様子。

平成二十四年好間地区成人式は、一月八日に好間公民館において開催されました。

当日は、あでやかな振袖やスリッパ姿の新成人が集まり、久しぶりに顔をあわせた友人らと交を温め、話に花を咲かせておりました。

式典は、厳肅な雰囲気の中、印遠進好間支所長から、市長の贈る言葉が代読され、新成人の阿部さんに記念品が手渡されました。また、来賓を代表して、

式典終了後、記念行事「好間町民二十歳のつどい」震災を乗り越えて〜では、集合写真を撮影した後、新成人の実行委員の皆さんによる中学校時代の思い出の映像がスクリーンに映し出され、集まった新成人や恩師の先生は当時を懐かしむように見入っておりました。

この成人式は、昨年九月から、新成人五名と公民館運営審議会五名からなる好間地区成人式実行委員会、三回会議を開いて、実施したところです。

また、東日本大震災後、初めての成人式であることから、公民館内には新成人から抱負などが百文字メッセージとして寄せられ、いわきの復興に向けたすばらしい成人式となりました。



成人式式典中の会場の様子。

まちづくり文化講演会

まちづくり文化講演会は、好間町を中心とした地域にまつわる歴史や文化を、講演会等を通して知ることにより、市民のまちづくりに対する意識の高揚を図ることを目的に、好間ふるさと振興協議をはじめ各種団体の皆様の協力により、毎年好間公民館で開催しております。

今回は、平成二十四年三月四日に、岬学園かもめパン工房、岬花江学園長と学園生の皆様をお迎えして、「トーク私と福祉」とシヨールを開催しました。



歌を披露する岬花江先生と学園生たち。

岬先生は、高校二年の時、重度身体障がい者施設を訪問し、感銘を受け、人生の最終目標を福祉に決めました。昭和六十一年に歌手デビューすると、平成八年に念願の「岬学園かもめパン工房」を設立されました。

現在は、歌手活動と福祉施設の園長として、障がい者と共に生きるまちづくりを目指し、学園生と一緒に全国で差別や偏見をなくす啓蒙活動を行っておられます。

講演会は、最初にかもめパン工房を取り上げたニュース映像が流され、先生が「河内おとこ節」を歌いながら、ステージに登場し、講演に移りました。

先生は、障がい個性であること、福祉施設の自立した運営のため、パンの製造販売をしていくことなどが語られると、多くの方が深くうなずいておられました。

来場者と一緒に歌を唄ったり、学園生による気迫のこもった剣舞が披露されるなど、盛りだくさんの講演会となりました。

震災や原発事故で、施設が使用できない状況にもかかわらず、困難に屈しない姿に、「感動した」「元気をもらった」という感想が多くありました。

また、会場を出ると、廊下にお帰りに子どもたちが待っており、お帰りに握手やハイタッチをしながら見送っていただきました。皆さんも喜んでおられました。